



## 研修の様子を紹介します

### 実践力向上研修

各学校園の実態に即した教職員の実践的な指導力向上のため、指導主事を派遣して、校内研修等の支援をしています。特別支援教育やICT活用法に関する講義・演習、教科指導等に係る研究授業、研究協議への指導・助言等を行っています。

#### ・県立新発田高等学校 7/24（月）

「教え込む」というこれまでの授業観の転換の必要性や、主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえ、標準単位の授業時間内で、いかにして生徒に必要な力をつけさせることができるか等の学校の課題に対して、「主体的・対話的で深い学びを意図した単元構成」というテーマで講義を行いました。

#### 受講者の声

単元や内容のまとめりを見通し、生徒につけさせたい力を考えながら、授業を組み立てることの重要性を再認識できました。今後は、ピクトグラムで視覚化された機能的な単元デザインシートを積極的に活用していこうと思いました。

- ※ 実践力向上研修は、現在も受け付けておりますので、申込方法については県立教育センターのホームページを御確認ください。
- ※ 各学校園のほかに、市町村教育委員会、教育関係研究会等の要請に応じて教職員研修の支援を行う、「要請訪問」も行っています。詳細については、県立教育センターのホームページを御覧ください。

### 初任者研修（高等学校） 体験活動研修 7/27（木） 8/31（木）

研修1日目は一般社団法人「まなび創造アカデミー」から鎌田学先生、鎌田晴美先生を講師としてお迎えし、「体験から学ぶ」と題して実習を行いました。受講者は互いに協力しあいながら様々な体験に取り組む中で、日常生活や今後の教員生活に活かしていけるような、様々な気づきを得ていました。また、活動を通じて暗黙知として感じ取った「安心できる、居心地がよい集団」とはどのようなものか、それぞれの考えを付箋に書いて言語化し、共有を行いました。

研修2日目はオンラインで実施しました。事前に取り組んだ課題を活用して、「創造力」をキーワードに意見交換を行いました。研修3日目は10月に実施し、教育センターで再び体験活動を通じて学びを深めていきます。

#### 受講者の声

生徒たちが自分で考え、自分の意見を発することができるよう、心理的に安心だと感じられる環境を教師が作り出すことが必要だと感じました。

他者と関わることが自分の考えを見直すきっかけとなりました。体験を通じて考えることで深い学びにつながると思いました。

「安心できる、居心地がよい集団」について協議中。

